

6

広島少年合唱隊

'65

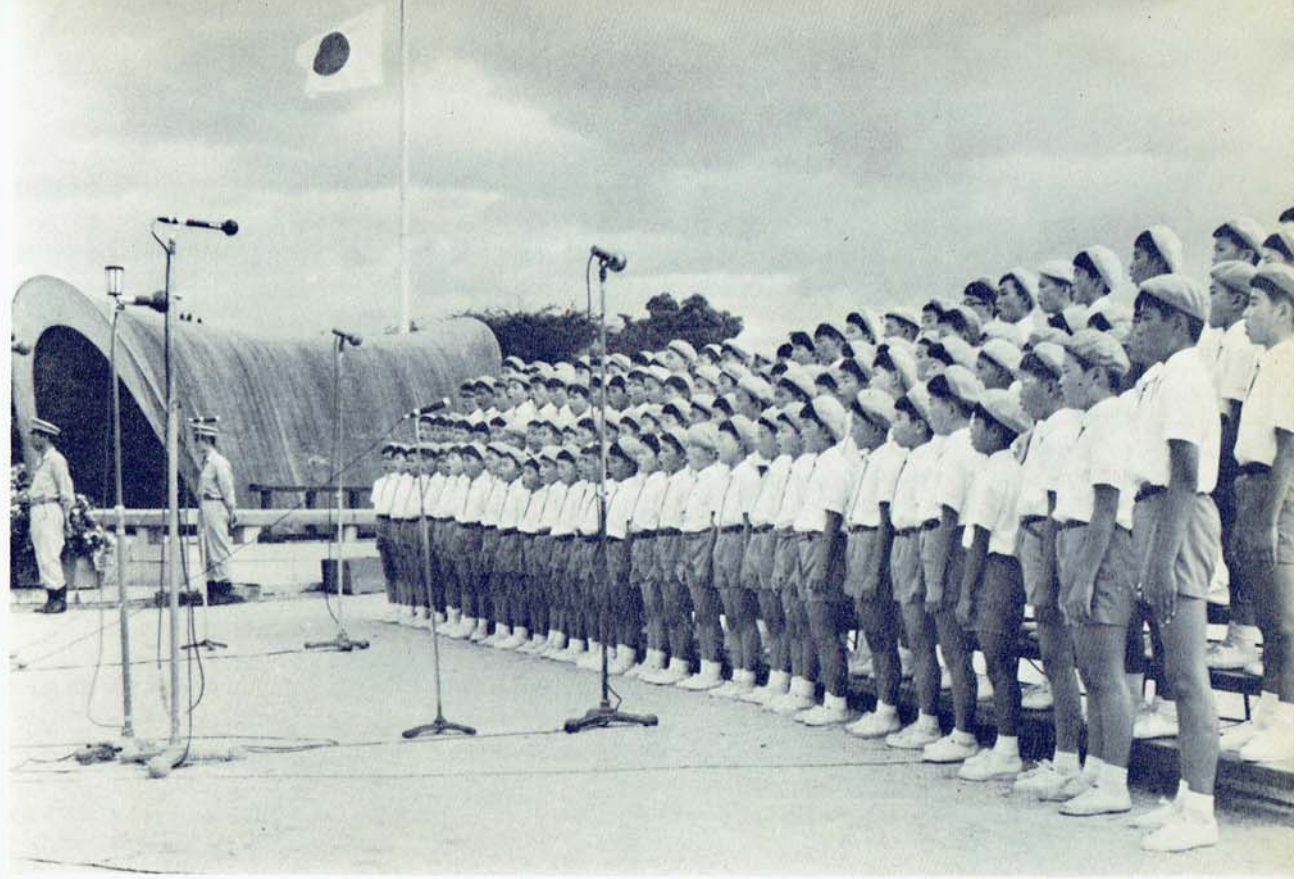
第6回 定期演奏会

広島少年合唱隊

と き 1965年11月3日(文化の日) P.M6:30
と ころ 広 島 市 公 会 堂
主 催 広 島 少 年 合 唱 教 室 後 援 会

後 援 広 島 市 教 育 委 員 会
広 島 市 小 学 校 音 楽 研 究 会
中 国 新 聞 社
N H K 広 島 中 央 放 送 局
ラ ジ オ 中 国
広 島 テ レ ビ





ごあいさつ

広島少年合唱隊もようやく6才になりました。

男の子ばかりの美しい合唱を育てたい。その活動をとおして、清らかで明るく、そして、たくましい子どもを育てたい。という夢をひたすらに追ってきた6年間です。

隊員こそ年々変わっていますが、隊としてのカラーもでき、質的にも漸次高まってきたように思われる昨今です。

これひとえに、先輩各位ならびに市民一般のかたがたの愛情にみちたご指導ご支援のたまものと、感謝の任かございません。

今回の演奏内容は、学年に応じ、また曲の形に応じて、むりなくしかも幅広いものを並べてみました。

オペレッタについては、昨年に引き続き、広島に伝わる民話を美しく楽しく歌いこんだ創作「あまんじゃく」を発表します。

合唱では、特に、新しく作った組曲「ひろしま」を発表いたします。これはかねてから、広島の子どもの夢と希望を声高らかに歌わせたいと願っていたことが、持田・森脇両氏のご厚情によりかなえられたわけです。

この曲が、この子たちの声をとおして、広島の人々、いや世界の人々の心に希望と、やすらぎを与えることができれば幸せです。

技術的には未熟なことが多々あると思いますが、この発表会をキッカケとして、さらに大きく育っていくよう、暖かいご指導をくださることを心からお願い申し上げます。

お祝いのことば



広島市長
浜井信三

広島少年合唱隊の第6回定期演奏会が開かれますことを心からお喜び申し上げます。

この合唱隊は、昭和35年に結成されて以来、毎年定期演奏会を開かれ、市民に親しみ深い合唱隊の一つとして期待をもたれて来たのでありますが、今日の姿にまで発展・成長をとげられたことは平素からのたゆまぬ努力の結果だと心から敬服しているしだいであります。

現在広島市を中心に活動しているコーラスグループは10団体に余る盛況ぶりですが、その中であって、小学校の上級生を主体とし、しかも少年のみで結成された広島少年合唱隊は、その特異な編成により、他では望めない領域を表現することができるわけでありまして、皆さんがたの清らかで自然な歌声を聞くことができますことは、総ての人にとって最も楽しいことの一つです。

皆さんがたの合唱隊は、誕生してから6年になりますが、その間、指導者のかたがたのたゆまぬ努力と、隊員の皆さんの勉強によって、一応の音楽的な基礎作りもでき、今では、りっぱな合唱隊としてレパートリーも豊富に持っておられますが、こんごもますます練習をつまね、今まで歌ってきた歌をよりうまく歌えるように、またより多くの歌が歌いこなせるように努力してほしいものです。

皆さんがたの今後いっそうの発展をお祈りし、わたしのお祝いのことばといたします。



顧問 広島市教育長
盛岡幹造

さわやかな秋の今宵、今は広島市音楽界の年中行事の一つとなった少年合唱隊の定期発表会が開催されることを心からお祝い申し上げます。

合唱隊のみなさんを心から愛し、心から支援する人々は、広いこの堂に満ち溢れ、清らかな美しい歌声に聞き入りつつ、みなくいおとなの世界の争いごとなど打ち忘れ、真に心和むひとときをすごしています。

わたしはふと、世界中のおとなたちがみんな、こんな安らかな平和な気持ちを持ち続けることができたら、どんなにすばらしいことだろうか、と想一想みます。

平和を念じながら、平和を忘れ勝ちなおとなたちに、清らかなみなさんの歌声を声高らかに聞かせていただきたいと思えます。

しかし、こうしたりっぱな今日の会が開かれるかげに、先生がたや、隊員のみなさんの涙ぐましいほどの苦心のあることを見のがすことはできません。

優れた指導者を得、よき先輩のあとを継ぐ不断の努力を積まれるみなさんは、やがて続く後輩のよりよき先輩となるべくますます勉強して、広島少年合唱隊の不滅の光源となってくださることを念じて、一言ごあいさつといたします。

カラダが資本だ
ビオタミン
三共株式会社

疲れに!
アリナミン

肩こり・腰痛・神経痛・つかれ目
便秘・心臓病にも

●アリナミン ●無臭性アリナミンF
〈各〉5・25・50ミリ錠

タケダ薬品



顧問 エリザベト音楽大学教授 太 田 司 朗

広島少年合唱隊も満6年に成年しました。そして今日第6回定期演奏会を開催されるに当たり、心からおよろこびを申しあげます。

この合唱隊は創設以来関係各位の献身的な努力によって堅実な歩みを続け、その成果はめざましいものがあった。毎年文化の日を期して定期演奏会を持っているが、これは現在では欠がすことのできない広島の行事とまでなっており、多くの人々から期待されている状態である。まことに喜ばしい現象であると喜びにたえない。特に今年は6周年を記念して、この合唱隊のために、持田勝徳氏と森脇憲三氏のコンビで作詞・作曲された組曲が献呈せられ、それが今日のプログラムにはいったことは、この合唱隊の歴史の上に一つのエポック・メイキングであり、記念すべき重要性を持っている。願わくば、これを機会にいろいろな面に脱皮と改善を加え、独自の個性をもった合唱隊として育てあげ、来る十周年の記念にそなえて欲しい。そのためには、今日よりさらに進歩的な指導方針とよりよき具体案とを確立し、基礎的訓練の充実、ならびに音楽性の向上をめざして努力せられいっそうの発展を希うしだいである。

顧問 県教育委員会指導主事 梶 山 逸 夫

第6回定期演奏会が開かれることを心からおよろこび申し上げます。

この広島少年合唱隊に対して、今日では、広島市民はもちろん、県内県外の多くのひとびとから、その発展しつづけている姿に大きな関心と期待がかけられています。

このたびは、隊歌ともいふべき、合唱組曲「ひろしま」の初演奏もなされると聞いています。このような意欲的な曲をおして、みなさんのすばらしい清純な歌声が聞かれることを楽しみにしています。

きょうの演奏会に至るまでには、楽しかったことだけでなく、多くの苦しみもあったと思われまふ。熱心に指導して下さる諸先生方を中心に、たゆまず努力し続けられたみなさんに対し、敬意と感謝の気持ちをささげながら、この演奏会をきっかけとして、ますます発展されることをお祈りしてお祝いのごとばといたします。

ビクター少年合唱隊指揮者 堤 温

8月6日、わたしは静岡県の榛原町で行われる音楽講演会に向かうタクシーの中で、「ただいまの合唱は、広島少年合唱隊の平和を祈る式典の歌であります」と感動のこもった全国放送に耳をかたむけていたのです。

広島少年合唱隊はどこにでもあつような合唱隊とちがい、一つの大きな性格を年々明確につけそなえています。毎年一回の平和式典になくはならない貴重な存在なのです。歌をおして世界に訴える力と誇りをもっている合唱隊なのです。

第6回の定期公演が続けられることが意義深ことはいふまでもありません。音楽だけがうまくなり、声だけがきれいになるのではなく、合唱生活をとおしておたがいの友情と理解を深めることになると思ひます。170名の清純な少年たちが一つの指揮棒に集中し、一つの音にとけこんで、広島市民の皆さんの前にステージをもたれるこの公演を心からおよろこび申し上げます。

この公演によって、さらに次への飛躍となり、成長される強いステップになりますことを祈つてやみません。

8 ミリシネセンター

カメラと材料

D・P・E / カラープリント

伊 奈 商 会 広島市堀川町 電話(代表)41-7375

伊 奈 カ メ ラ 広島市松原町 電話61-4996・6928

伊奈カメラ白鳥店 広島市東白鳥町 電話 21-2975

外 科 原 田 病 院
整形外科

原田東岷・原田雅弘

広島市広瀬町1-7 電話(代表)32-3351

組曲「ひろしま」について

この曲は、広島少年合唱隊のために、詩人持田勝穂氏、作曲家森脇憲三氏に、特に依頼して新しく作ったものです。小さな夢、大きな夢を描いて育ってきたわが合唱隊の歌が誕生したわけです。

曲は、Ⅰ 清純、Ⅱ 希望、Ⅲ 平和の三部からなっていますが、これはそのままわたしたちの理想です。胸に飾るワッペンも白（清純）青（希望）緑（平和）の三つに色わけしてあるとおり、片どきも忘れることのない夢なのです。

その標題が示すとおり、

Ⅰは、あくまで清らかで汚れを知らぬ少年の心を、

Ⅱは、明るくしかも生き生きとした少年の姿を

Ⅲは、おおらかに力強い平和のねがいを

それぞれ、広島の上の中から、住む人の心の中からはひろいあげ歌いこまれてあります。

曲としては、かなり高度な表現を要求されておりますが、新鮮で、情熱的なリズムやメロディは少年の心をどろえずにはおきません。また、特別な手法をこらしたピアノ伴奏は、この曲をいっそう美しいものになっているようです。

この合唱曲が、単にわが隊のもので終わることなく、広島のひとつの声となり、世界の空にひびきわたることをこいねがってやみません。

作者のことば

作詞 持田勝穂

作曲 森脇憲三

こどものための合唱曲は、これまでも、森脇氏の作曲でいくつか作ってきましたが、こんどの組曲「ひろしま」もそのひとつになりました。

作詩にあたっては、自分の複雑な感情を整理しながら、こどものこころの中に少しでも踏みこんで、単純に、清純にうたいあげる努力はいたしました。が、さてそれが、純粋なこどものこころに、どのように反映し、どのようにうたわれるか、ただただ発表演奏会の成果を、こころから祈るばかりです。

どうか明るい純心な気もちで、力強くうたってください。栄光の日のくることを、広島少年合唱隊に期待してやみません。

合唱隊のみなさん。

わたしも皆さんと同じ広島で少年時代を過ごしました。白鳥小学校で学んだこと、比治山の花見にいったこと。あるいは、広島湾で潮干狩をしたことなど、目をとじると今もハッキリと浮かんできます。

皆さんの合唱隊は、立派な先生がたのご指導で、とてもスゴク実力のある合唱団になりました。

広島でのNHKの放送局ができてまもないころ、わたしも先生につれられて合唱を放送したことがあります。皆さんに聞かれるとハズかしくなったと思いますが、このたびは、わたしの作曲した合唱曲を歌ってくださるそうで、わずかな時間しかありませんでしたが、いろいろなこと（今のこと昔のこと）など考えながら作曲しました。

皆さんの歌声はキットキット世界の人々の心に、美しいなぐさめや、やすらぎを与えるでしょう。明るい希望を与えるでしょう。それだけの力があるのです。みんなで力を合わせてがんばってください。

福岡市在住・北原白秋門下の詩人

広島市出身・昭和16年東京音楽学校卒・福岡学芸大学教授

日本の名酒！

酒王

白牡丹

西條・白牡丹酒造K.K醸

最大生産力 最高の技術



ミカサ ボール

明星ゴム工業株式会社

組曲「ひろしま」

持田 勝穂 作詞
森 脇 憲三 作曲

I 清 純

青い空から おりてきた
ちいさなハトの 目を見てごらん
すなおな やさしい
目をしてる。
ひろしまの 公園の
かわいいハトの 目を見てごらん。

水のみやは かわらない
きれいな清い ながれをごらん
なかよく ながれて
海で合う。
ふるさとを 流れてる
七つの川の 水みてごらん。

街も港も 山なみも
きらめく星の ひかりをごらん
ぼくらの うたごえ
とどくでしょ。
しあわせの 朝をよぶ
かがやくそらの 星みてごらん。

II 希 望

もりあがる つぼみ——
それは、ぼくたち ひろしまの
土にさく花 いま大きく
ひらきます。
もりあがる つぼみ——
それは、ぼくです。
花のように ひろしまを
みんなであかるく
かざります。
かがやく文化の はなそのに——

青々と 芽吹く——
それは、ぼくたち ひろしまの
芽立ちよ いま大きく
みのります。
あおあおと 芽吹く——
それは、ぼくです。
ゆめのような ひろしまの
あかるい 未来を
えがきます。

ひろしまを ひろしまを

III 平 和

ぼんえむ朝の 太陽が
こわれたドーム 照らすとき
この眼で仰ぐ ひろしまの
平和なきょうの 空がある。
ぼくらの朝だ
ひろい空。

みなとの旗も びるの灯も
はたらく人も 生きいきと
のび行くすがた ひろしまの
デルタの街に 春が来る。
平和を祈る
鐘が鳴る。

なかよく共に 手をつなぎ
あかるいきよい うたごえは
山越え 海こえ
世界の空の 虹となれ。
歌よ 歌よ
ぼくらの歌を

ひろしまよ



広大本部食堂を
始めました

喫茶部 広島市立町27
電話 28-1311-4
キッチン衆望 広島市平田屋町53
電話 21-0514
郵政局喫茶室 広島市基町5
電話 21-5181
広大工学部店 広島市千田町
広大本部店 広島市千田町

高級紳士服は
いつもよく、そろって好評の
本通カープ洋服店

広島市本通4番12号(2丁目)電話 1950
3151

プログラム

1. 宗教音楽

グレゴリオ聖歌より
 。キ リ エ
 。ア ベ マ リ ア
 。ヴィクティメ バスカリ ラウデス
 オラトリオ「エリア」より
 。天 使 の 合 唱
 メンデルスゾーン作曲
 太田司朗 訳 詞

木 科 B 組

指揮 辻 敏

2. あたらしい子どものうた

。夕 日
 。春がきた 春がきた
 オペレッタ「狼のまゆ毛」より
 。まみ毛のうた
 。油屋のおかみさんのうた
 。つ り か わ さ ん
 。キ リ ン
 。小さい秋みつけた
 葛原しげる 作 詞
 室崎琴月 作 曲
 岡本敏明 作詞作曲
 牛腸征司 作 曲
 まどみみお 作 詞
 磯部 俊 作 曲
 清水たみ子 作 詞
 中田一次 作 曲
 サトウハチロー 作 詞
 中田喜直 作 曲

予 科

指揮 永 柴 良 睦
 伴奏 山 木 富美子

3. 外国の民謡

。山 こ そ わ が 家
 。ビ ク ニ ッ ク
 。車 に ゆ ら れ て
 。霜 の 朝
 。ふ た り の 子 ど も
 。光 る こ み ち
 ド イ ツ 民 謡
 作詞者 不 明
 イ ギ リ ス 民 謡
 萩原英一 作 詞
 メ キ シ コ 民 謡
 佐木 敏 作 詞
 チ ェ コ 民 謡
 旗野十一郎 作 詞
 ス ベ イ ン 民 謡
 薩摩 忠 作 詞
 メ ー ラ ー 作 曲
 中山知子 作 詞

木 科 C 組

指揮 岩 藤 満
 伴奏 渡 辺 富美

4. 日本のうた

・あこがれの歌 京嶋 信 作詞・作曲
 ・ゆりかご 平井保喜 作詞・作曲
 ・荒城の月 土井 晚翠 作詞
 滝 廉太郎 作曲
 ・川 千家元磨 作詞
 橋本 国彦 作曲

本科 A 組

指揮 應 下 昭 一
 伴奏 福 井 幸 子

<休 憩>

5. オペレッタ

「あまんじゃく」 野田 潔 作
 永 柴 良 暁 作 曲

本科 A・B 合同

演出 清 水 源 康
 伴奏 内 泉
 舞台 広島舞台美術
 照明 篠 本 秀 吉

6. たのしい歌

・かわいい子守歌 サトウハチロー 作詞
 清 水 脩 作 曲
 ・星の界 杉谷代水 作詞
 コンバース 作曲
 永柴良暁 編曲
 ・ほがらか村長さん アメリカ 民謡
 西崎嘉太郎 作詞
 ・こきりこぶし 富山 民謡
 町田・藤井 採譜
 永柴良暁 編曲
 ・ビールだる 北原白秋 作詞
 橋本 国彦 作曲

予科・本科C組合同

指揮 永 柴 良 暁
 伴奏 山 本 富 美 子

7. 合唱組曲

「ひろしま」 持田勝穂 作詞
 I 清 純 望 和 作 曲
 II 希
 III 平

本科 合同

指揮 樋 口 正 司
 伴奏 福 井 幸 子

みんなで歌いましょう

「広島市歌」

全 員

プログラムについて

今はもうない児童文化会館のステージでの定期演奏会から数えて、このたびで6回目の定期演奏会を迎えることになった。小学唱歌のみでスタートした当時に比べて、当合唱隊のレパートリーもたいへん幅広いものになっている。すなわち「古典から新しいものまで」をプログラムの上で絶えず考えてきたわけである。少しでも幅広い音楽的経験を与えたい。これが指導者の念願でもあるわけである。

入門期には、隊員たちに親しみやすく、しかも容易に合唱のための初期経験が、豊かに得られるようなものとして、現代の子どもの歌、輪唱や簡単な合唱、指導者の手によって編曲されたキャンプソングなど行事と結びついたものを歌わせている。

第二年次には、より確かな合唱、美しいハーモニーに重点をおき、従って曲も小学校教材にある合唱や、外国の子どもの歌、また民謡など、かなり広範囲に数多く歌わせている。いうなれば、合唱の基礎的な段階の一応の終了期として指導をしている。

さらに進んだ段階は、5・6年、中学生のグループであり当合唱隊は、これら隊員を二分して、A組、B組と呼んでいる。

この段階では、より美しい合唱表現を追求し、曲の持つ感情を、より豊かに確かに表現することを主眼としている。

以上が、広島少年合唱隊の平素の指導概要であるが、この度演奏する曲も、そうした平素、練習した曲の中から、隊員に於て、また指導者に於て選り出したものである。

以下演奏順に従って各クラスのプログラムをながめてみたい。

- ・本科A組による宗教音楽は、グレゴリオ聖歌より三曲と、オラトリオ「エリア」より天使の合唱を、あわせて四曲である。
- ・予科は「あたらしい子どものうた」として、七曲を演奏する。合唱訓練を受けて半年、多くを望めない段階であるが、音色統一、正しい呼吸法

と、数多くの問題にとりくんだ成果を聞いていただきたい。

- ・本組C組は4年生の児童で、1年間の訓練をつんだグループである、このグループは、先にも述べたように確かな合唱と美しいハーモニーに重点をおいて指導している。少年合唱むきの、外国民謡を6曲ほどを演奏する。指導者は、のびのびした楽しいステージにしたいと話している。
- ・本科B組は「日本のうた」として、親しい歌、よく親しまれた歌4曲を歌う。リズムカルな新曲、叙情的な歌曲など豊かな表現をねらって努力しているの、ききごたえのある、ステージをつくり出してくれることを確信している。
- ・オペレッタは、例年この演奏会の一つのよびものになっているものであるが、ことしも広島近郊の民話より取材した、「津久根島のあまんじゃく」を上演する。このオペレッタは、指導者の手によって、時には台本を書き、また曲を作り、隊員たちの相談によって劇構成をしており、プログラムの中に楽しい一ページをつけ加える意味でも、意義深いものである。この度は素材を隊員が身近かなものとして受けとめているだけに楽しいものになるであろう。
- ・予科、本科C組(3・4年)合同のプログラムとして「たのしい歌」を演奏する。肩のこらない楽しい曲を美しくうたおうとして「かわいい子守歌」ほか数曲を演奏する。合唱技能の上では、まだふじゅうぶんのものがあるとしても、指導者の適切な編曲や、指導によって、たのしいステージにしている。
- ・本科合同により、広島少年合唱隊隊歌ともいえる合唱組曲、「ひろしま」の発表をする。広島に生まれ三篠川の清流で泳ぎながら育った作曲家、森脇氏が、広島の子どものために書いてくださった、意欲作である。第6回の定期演奏会の総力を結集した、ステージにし、じゅうぶん聞きごたえのあるものにした。

北京料理

冷暖房完備

中国飯店

広島市紙屋町1丁目4-26 電話21-2740・3375

金融

東和商事

広島市小町9-10

電話 41-6983番